

# 第2期 久留米市食料・農業・農村基本計画

平成27年度～平成31年度

職業として選択できる魅力ある農業の実現



久留米市

# 久留米市の農業の特徴

久留米市は、九州北部の筑後平野中央に位置し、東西約32km、南北約16kmと東西に長い形状で市域面積は229.84km<sup>2</sup>、人口約30万人を擁する福岡県南部の中核都市です。

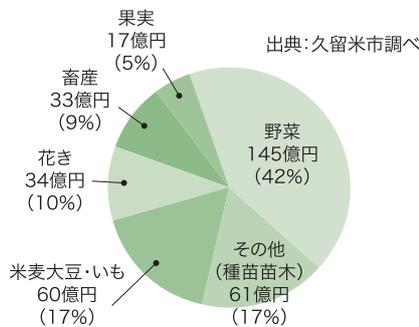
また、九州一の大河筑後川と緑豊かな耳納連山に育まれた筑後平野の肥沃な大地のもと、米麦大豆、野菜、果樹、種苗木類、花き、畜産などの農産物を生産する県内最大の農業都市です。また、市内には5つのJAが存在するなど、地域の特徴に合わせた農業が営まれています。

## 久留米市の主要農産物マップ



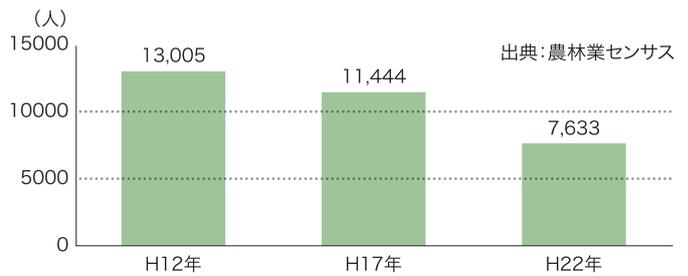
## ■農業産出額の品目別割合(平成24年産)

久留米市の農業産出額は過去10年、300億円から350億円の間で推移しています。品目別では、野菜や種苗木類の額が多いのが特徴となっています。



## ■農業就業人口(販売農家)の推移

平成17年から平成22年の5年間で3,811人、33.3%減少しています。65歳以上は48%を占めています。



## ■主要品目の生産状況(H24年産)

農産物	出荷量	県内シェア	県内順位
米(t)	20,600	10.9%	1位
小麦(t)	8,250	16.5%	1位
大豆(t)	2,070	13.1%	2位
いちご(t)	1,748	12.3%	2位
ほうれんそう(t)	1,034	41.7%	1位
レタス(t)	6,582	52.1%	1位
たまねぎ(t)	485	26.3%	2位
かき(t)	1,473	12.0%	3位
ぶどう(t)	830	11.8%	3位
なし(t)	280	4.1%	-
いちじく(t)	68	6.4%	3位
カーネーション(千本)	4,860	57.4%	1位
シクラメン・鉢(千本)	120	31.6%	1位
洋ラン・鉢(千本)	540	49.5%	1位
乳用牛(頭)	3,011	18.7%	1位
肉用牛(頭)	2,683	11.1%	3位

## ■認定農業者数

平成20年度をピークに減少傾向に転じましたが、法人数は増加しています。

	H20年度	H25年度	増減
認定農業者数	876	818	△58
うち法人数	34	48	+14
うち法人の割合	3.9	5.9	+2.0

出典:久留米市調べ

## ■認定農業者の年齢構成(単位:%)

5年間で65歳以上の割合が約10ポイント増加しています。

	H20年度	H25年度	増減
39歳以下	9.7	8.3	△1.4
40～49歳	24.0	18.2	△5.8
50～59歳	39.1	35.0	△4.1
60～64歳	16.3	17.7	+1.4
65歳以上	10.9	20.8	+9.9

出典:久留米市調べ

※米、小麦、大豆は収穫量。乳用牛、肉用牛は飼養頭数  
 (出典:「福岡県農業統計調査」、「福岡県農林水産部畜産課調査」)

## 米麦大豆

米は、『ヒノヒカリ、元気つくし、夢つくし』などの品種を中心に、3,900haの水田で、県内1位を誇る20,600t(平成24年産)を生産しています。

米の生産は、集落営農組織や認定農業者を中心に大型機械による効率的な経営が推進されています。また、畜産が盛んな市の特性を活かし、畜産堆肥を利用した土づくりが行われています。

麦は『シロガネコムギ』や『チクゴイズミ』を中心に、中華麵の原料となる『ちくしW2号(通称:ラー麦)』などの小麦、焼酎・みその原料となる大麦『ハルシズク』が生産されています。

大豆は『フクユタカ』を中心に、水田を有効に利用するため、892haの水田で2,070t(平成24年産)を生産しています。

また、三潅町では、雑穀のハトムギが生産されており、ハトムギ入りのお茶や味噌などの加工品が開発・販売されています。



大型機械(コンバイン)



ブランド米「くるめ米」



はとむぎ茶

## 野菜

露地栽培によるリーフレタス、ほうれんそう、いちご、たまねぎ、だいこんなど、施設栽培による小松菜、みずな、トマト、ネギなど、多種多様な野菜が生産されています。特に、リーフレタスは県内シェアの半数以上を占める競争力のある農産物で、市は農業団体と連携してブランド化に取り組んでいます。

北野町を中心に、外国人実習生や常雇用に導入した雇用型農業による大規模な施設園芸産地として発展しています。

これらの野菜の多くは、JA等を通じて、東京・大阪・福岡などの大消費地に出荷されています。

久留米産農産物をPRするため、市のイメージキャラクター“くるっば”やロゴマークを包装資材に印刷して販売しています。



きゅうり



久留米産リーフレタス



イチゴ(あまおう)

## 果樹

耳納北麓を中心に、ブドウ、なし、かき、もも等が栽培されています。

特に、いちじくでは、福岡県のブランド『とよみつひめ』が栽培され、かきでは、種なし甘柿の『秋王』などの新品種の導入を進めています。また、田主丸町などでは、ブドウや柿のフルーツ狩などの観光農業が盛んに行われています。



藤山なし(豊水)



富有柿



いちじく(とよみつひめ)

## 植木苗木

耳納北麓地域を中心に、ツツジ、ツバキ、果樹苗木など、多種多様な植木苗木が生産され、全国に出荷されています。特に、柑橘果樹苗木の生産は全国の約70%~80%のシェアを誇ります。

市内では、品種開発が盛んに行われており、久留米市世界つつじセンターでは「紅かすり」や「夢かすり」などのツツジの新品種を開発しています。ツバキでは、福岡県が大輪の香りツバキ「耳納の香(みのうのかおり)」を開発しました。



クルマツツジ(夢かすり)



香りツバキ(耳納の香)



果樹苗木

## 花き

県内1位の出荷量のカーネーションやユリなどの切り花、シクラメンや洋ランなどの鉢物の生産が盛んです。

## 畜産

筑後川の河川敷で育てた牧草を利用して古くから畜産が盛んに行われ、乳用牛を中心に、肉用牛や採卵鶏などが飼育されています。また、家畜排泄物を堆肥化し、米や野菜の農家が使用する循環型農業も盛んに行われています。



シクラメン



乳用牛



ほ場への堆肥散布

# 第2期 久留米市食料・農業・農村基本計画(概要)

## 第2期 久留米市食料・農業・農村基本計画とは (計画期間:H27年度~H31年度)

「久留米市食料・農業・農村基本条例」の基本的施策を総合的かつ計画的に推進するための農業政策のマスタープランです。

## 基本的な考え方

### 『市民みんなで参加する久留米の食と農』

市民、農業者や農業団体、事業者、行政の協働によって、久留米市の農業・農村の発展を目指します。

## 全体目標『職業として選択できる魅力ある農業の実現』

第一に、  
～努力と能力で儲かる職業～  
「自らの努力で、十分な所得を得ることができる職業」

第二に、  
～新たな事に挑戦できる職業～  
「先進技術や新品種、新たな作物の導入、法人化や6次産業化など新たな経営に挑戦できる職業」

第三に、  
～誇りを持てる職業～  
「食料の安定供給や多面的機能など公益性のある職業として市民から支持され、農業者自身も誇りを持てる職業」

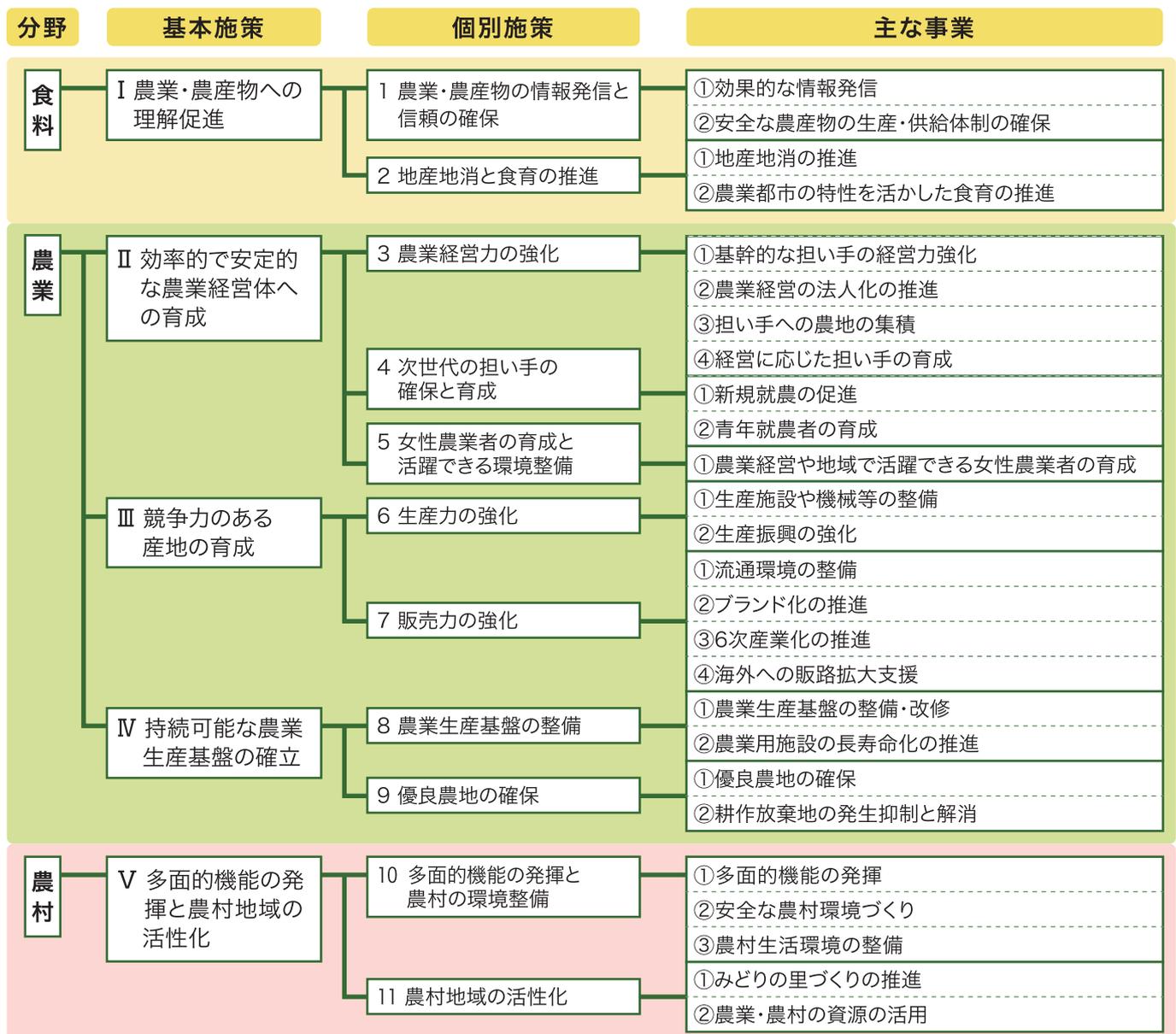
## 成果指標(目標H31年度)

農業都市への市民の理解度  
●27.6%(H26年度) → 60%

農業・農村の持つ多面的機能の認知度  
●51.2%(H26年度) → 65%

販売金額1千万円以上の認定農業者の割合  
●74%(H25年度) → 80%

## 施策体系



## 食料像

### 市民みんなが久留米産農産物を信頼し、消費するまち

#### 基本施策Ⅰ 農業・農産物への理解促進

久留米市の安全な農産物の生産や農業に対する市民の理解と信頼の確保に努め、市民が久留米産農産物に愛着を持ち積極的に消費する地産地消を推進します。

#### 施策指標(目標 H31年度)

- 農業関連イベントの来場者数  
年間58.7万人(過去5年平均)  
→ 年間65万人
- 地産地消を意識している市民の割合  
49.4%(H26年度) → 65%

#### 個別施策Ⅰ 農業・農産物の情報発信と信頼の確保

##### ①効果的な情報発信

- ・安全な農産物の生産・供給体制や久留米産農産物の魅力、農業や農村の持つ公益的な役割についての効果的な情報発信
- ・農業まつりなどの生産者と消費者の交流

##### ②安全な農産物の生産・供給体制の確保

- ・ポジティブリスト制度やGAPなどの推進



農業まつりでの農産物の直売(左)、乳搾り体験(右)

#### 個別施策Ⅱ 地産地消と食育の推進

##### ①地産地消の推進

- ・中央卸売市場の市内流通の促進
- ・地産地消推進店制度の推進
- ・学校給食への久留米産農産物の導入支援

##### ②農業都市の特性を活かした食育の推進

- ・学童農園設置事業
- ・久留米産農産物を使った料理講習会、レシピ集の配布



地産地消推進店のマーク



学童農園



市場まつり

## 農業像

### 高い生産力と販売力を兼ね備えた農業のまち

#### 基本施策Ⅱ 効率的で安定的な農業経営体への育成

高齢社会や農業を取り巻く環境変化に対応して、持続的な農業生産を維持するために、企業の経営を行う効率的で安定的な農業経営体の育成や次世代の担い手の確保と育成、女性農業者の育成を図ります。

#### 施策指標(目標 H31年度)

- 集落営農法人数  
15法人(H25年度) → 45法人
- 認定農業者等の農地集積率  
44.6%(H25年度) → 60%

#### 個別施策Ⅲ 農業経営力の強化

##### ①基幹的な担い手の経営力強化

- ・認定農業者の経営相談会
- ・法人の意見交換会、複合経営の検討

##### ②農業経営の法人化の推進

- ・法人化、雇用型農業の研修

##### ③担い手への農地の集積

- ・農地中間管理事業の活用

##### ④経営に応じた担い手の育成

- ・九州大学と連携した政策構築



法人化の研修

#### 個別施策Ⅳ 次世代の担い手の確保と育成

##### ①新規就農の促進

- ・情報の提供と相談体制の充実
- ・農業大学校等との連携
- ・雇用就農の促進

##### ②青年就農者の育成

- ・研修会の実施やグループ活動の支援



青年就農者経営力向上研修会

#### 個別施策Ⅴ 女性農業者の育成と活躍できる環境整備

##### ①農業経営や地域で活躍できる女性農業者の育成

- ・リーダー養成研修
- ・農業委員や農業団体、協議会等の役職への登用促進
- ・家族経営協定の締結と随時見直しの推進
- ・認定農業者共同申請の推進



リーダー養成研修

家族経営協定  
調印式



## 基本施策Ⅲ 競争力のある産地の育成

魅力ある農産物の生産力を向上し、販売方法の多角化や販路の拡大を促進するとともに、市内外への情報発信を強化するなど、市場や消費者から高く評価・支持され、安定的に生産・供給できる競争力のある産地を育成します。

### 施策指標(目標 H31年度)

- 主な野菜・果樹の収穫量  
25,122トン(H24年度)  
→ 26,400トン(H30年度)
- 久留米ブランド農産物の認知度  
現状値なし → 60%

### 個別施策6 生産力の強化

#### ①生産施設や機械等の整備

- ・ビニールハウスなどの生産施設や省力機械等の整備支援
- ・土づくりセンターの整備支援
- ・鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣被害調査・生息調査
- ・捕獲活動・被害防止施設の設置支援

#### ②生産振興の強化

- ・雇用型農業の推進
- ・減農薬・減化学肥料等の環境保全型農業の推進
- ・試験研究機関等と連携した農業者等への新品種や新技術の情報提供
- ・九州大学との連携による新技術開発等の検討
- ・緑花木の振興
- ・近隣自治体との連携強化



ビニールハウス



有害鳥獣防止柵



新技術発表会

### 個別施策7 販売力の強化

#### ①流通環境の整備

- ・集出荷施設、低温管理施設などの環境整備

#### ②ブランド化の推進

- ・ロゴマークを使ったブランド化
- ・リーフレタスなど特長ある農産物のブランド化
- ・近隣自治体と連携した広域的ブランド化の検討
- ・九州大学と連携したブランド化の仕組づくり

#### ③6次産業化の推進

- ・農業者と商工業者等との交流会の開催
- ・商品開発や販路拡大の支援
- ・近隣自治体と連携した広域商談会の開催支援

#### ④海外への販路拡大支援

- ・農業者や農業団体の輸出へ向けた取組支援
- ・意欲ある農業者等の人材育成



大阪市場でのトップセールス



農商工見本市



香港での試験販売

## 基本施策Ⅳ 持続可能な農業生産基盤の確立

農地や農道、農業用排水路、ため池等の整備、耕作放棄地の解消、農地の無秩序な開発の抑制など、優良農地を確保し、将来にわたって生産性の優れた営農を維持できる農業生産基盤の確保を図ります。

### 施策指標(目標 H31年度)

- 農業生産基盤整備の面積  
5,183.9ha(H25年度)  
→ 5,211ha
- 耕作放棄地の面積  
93ha(H26年度) → 88.2ha

### 個別施策8 農業生産基盤の整備

#### ①農業生産基盤の整備・改修

- ・ほ場の整備、農道や農業用排水路などの整備
- ・暗きょ排水施設の整備など既存施設の機能向上
- ・ため池、井堰、クリークなどの整備・改修

#### ②農業用施設の長寿命化の推進

- ・施設の子防保全の推進



ほ場整備をした農地(長門石町)



農業用排水路

### 個別施策9 優良農地の確保

#### ①優良農地の確保

- ・農業振興地域整備計画の推進や農地法の遵守

#### ②耕作放棄地の発生抑制と解消

- ・農業委員会やJAと連携した農地パトロールによる実態把握と改善への取組
- ・耕作放棄地の解消、営農再開への支援



農地パトロール



耕作放棄地解消農地のそば畑(左)、そば乾麺(右)



## 農村像

# 市民との協働により魅力ある農村社会が形成されるまち

## 基本施策Ⅴ 多面的機能の発揮と農村地域の活性化

### 施策指標(目標 H31年度)

- 多面的機能の維持に取り組む地域活動面積の割合  
56%(H25年度)→75%
- 耳納北麓地域の交流人口  
180万人(H25年度)→230万人

市民との協働により農村の多面的機能を発揮する活動を推進します。また、農村地域の豊かな資源を活用した活発な経済活動を促進し、農村地域の活性化を図ります。

### 個別施策10 多面的機能の発揮と農村の環境整備

#### ①多面的機能の発揮

- ・地域住民が協働で取り組む農業用施設などの維持保全活動の推進

#### ②安全な農村環境づくり(セーフコミュニティの推進)

- ・農道、水路、ため池等への安全施設の設置
- ・農道への路面標示

#### ③農村生活環境の整備

- ・生活排水処理施設の維持、整備



地域の共同活動



安全施設(ため池のフェンス設置)

### 個別施策11 農村地域の活性化

#### ①みどりの里づくりの推進

- ・みどりの里づくりエリアの拠点施設を活用した農業や農産物等の情報発信や緑花木産業の振興
- ・農業体験の実施支援、飲食施設の整備支援
- ・都市部からの集客や定住の促進
- ・風景街道の情報発信、散策ルートの活用

#### ②農業・農村の資源の活用

- ・都市と農村の交流促進、情報発信



道の駅くるめ



世界のつばき館



つばきウォーク

## 農業・農村の持つ多面的機能とは

農業や農村地域は農作物を生産する役割だけでなく、私たちの生活に様々な『めぐみ』をもたらしています。水田は雨水を貯蔵し、洪水や土砂崩れを防止したり、多くの生物を育みます。また、美しい農村地域の景観は私たちの心を和ませてくれます。これらの役割を農業・農村の持つ多面的機能といいます。

### 多面的機能の一例

- 洪水防止
- 土砂崩壊防止
- 土壌浸食防止
- 水源のかん養
- 水質浄化
- 気候緩和
- 大気浄化
- 生物多様性の保全
- 伝統文化の継承
- 良好な景観の形成
- 心と体の保養機能
- 体験学習と教育



## 市民や農業者・農業団体、事業者、市の行動指針

計画に基づいて施策や事業を展開し、全体目標を実現するためには、市民や農業者・農業団体、事業者などが計画の内容を理解し、主体的に行動することが必要です。

### 農業者・農業団体の責務

- ・安全な農産物や農産加工品の生産供給
- ・積極的な情報発信、市内出荷や消費者ニーズの把握、市民の理解促進と信頼の確保
- ・農業生産基盤施設の適正な維持管理、多面的機能の保全
- ・収益性の高い農業への経営改善、品質の向上
- ・次世代への技術や知識の継承
- ・競争力の高い産地育成

### 市の責務

- ・農業者や農業団体、市民、事業者、国や県などと連携し、計画に基づき施策・事業を推進する

### 市民の役割

- ・農業者との相互理解、農業や農村の持つ多面的機能への理解を深める
- ・農業生産基盤施設の維持保全活動への参加
- ・久留米産農産物の積極的な消費

### 事業者の役割

- ・農業や農村の重要性についての理解を深める
- ・久留米産農産物の積極的な利用や消費者への提供
- ・農業生産基盤施設の維持保全活動への参加
- ・本市の農業振興への参加・協力

## 第2期

## 久留米市食料・農業・農村基本計画

平成27年度～平成31年度

発行日 平成27年4月

発行者 久留米市農政部農政課

〒830-8520 久留米市城南町15-3

TEL(0942)30-9163 FAX(0942)30-9717

E-mail nousei@city.kurume.fukuoka.jp